五泉市農業委員会

令和3年 第1回 定例総会議事録

会議開催 令和3年1月29日(金) 午後 2時00分
場 所 五泉市役所 401会議室

出席委員(18人)

1番 渡辺 清滋	2番 加藤 健一
3番 江口 聡	4番 渡邊 清司
5番 高橋 甚一	6番 今井 聡
7番 岩出 ノブ子	8番 林 毅
9番 亀山 公子	
11番 阿部 伸由	12番 渡邊 みのり
13番 高岡 公衛	14番 川村 孝雄
15番 佐久間 公英	16番 楯 英樹
17番 地濃 潤一	18番 松尾 タカ子
19番 古田 常藏	

欠席委員

10番 権平 孝男

関係説明者

局 長	鈴木 一弘	次 長	五十嵐 敦
村松事務所長	田中 正徳	係 長	阿部 隆
主 査	藤田 剛		

日 程

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 総会成立宣言
4. 会期日程
5. 議事録署名委員の指名
6. 農地パトロールの報告
7. 議 件

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について
議案第2号 農地転用事業変更承認申請について
議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請について
議案第4号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による

農地利用集積計画について
議案第5号 非農地の対象とすることの決定について

司 会 それでは、ご案内の時間となりましたので只今から、令和3年第1回定例総会を開催いたします。

会長からごあいさつをいただき、その後は、会議規則第4条により議長として進行をお願い致します。

会 長 ～～あいさつ～～

議 長 ただいまから、令和3年 第1回総会を開会いたします。

日程の「3 総会成立宣言」ですが、出席委員数は、19人中、18人で、定足数に達しておりますので、本総会は成立していることを宣言します。なお、10番 権平委員より欠席の通告がありましたので報告いたします。）

議 長 次に、日程の「4 会期の日程について」であります。本日1日限りとし、議事日程につきましては、お手元に配布の日程のとおりとすることで、ご異議ございませんか。

～～「異議無し」の声あり～～

議 長 「ご異議無し」ということで、左様決定いたします。

次に、日程の「5 議事録署名委員の指名について」であります。五泉市農業委員会会議規則第13条の規定により作成します議事録の署名委員の指名について、私に、ご一任いただけますか。

～～「異議無し」の声あり～～

議 長 それでは、議席番号7番 岩出ノブ子委員、8番 林毅(たけし)委員にお願いします。また、議事録の記録員は、事務局 阿部係長にお願いします。

続きまして、日程「6 農地パトロールの報告」に入ります。

調査班の班長4番 渡辺清司 委員から報告してもらいます。

調査班長（渡辺清司 委員）

はい議長。議席番号4番、現地調査班 渡辺です。優良農地の保全と確保、無断転用の防止として1月の農地パトロールを実施しました。

本日9時30分から私ほか、松尾代理、片桐推進委員、樽井推進委員と事務局の田中所長、阿部係長で管内を見て参りました。

五泉地区では、三本木、赤海、今泉、川瀬、柄沢、猿和田、尾白、赤羽、論瀬、高

山、村松地区では、本田屋、青橋、上木越 等を見て参りましたが、違反転用等の状況が見受けられなかったことを報告いたします。

議 長 只今の報告について、ご質問等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、報告のとおりとします。
続きまして、日程の「7 議件」の審議に入ります。最初に、「議第1号 農地法第3条の規定による許可申請について」を上程します。事務局より説明をお願いします。

阿部係長 はい、議長。

議 長 阿部係長。

阿部係長 はい議長。説明をいたします。
今回の農地法第3条の規定による許可申請は、総数10件のうち売買が3件、交換が2件、贈与が1件、賃貸借が2件、使用貸借が2件となります。

3ページをご覧ください。番号1番は、売買での所有権移転の案件となります。

譲受人の経営規模拡大のため、田1筆、986㎡を議案書記載の金額で売買するものです。8ページの審査表をご覧ください。農地法第3条第2項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

3ページに戻っていただき、番号2番も、売買での所有権移転の案件となります。

譲受人の耕作の便を図るため、畑2筆、1,020㎡を議案書記載の金額で売買するものです。9ページの審査表をご覧ください。農地法第3条第2項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

3ページに戻っていただき、番号3番も、売買での所有権移転の案件となります。

譲渡人の経営規模縮小のため、田1筆、991㎡を議案書記載の金額で売買するものです。10ページの審査表をご覧ください。農地法第3条第2項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

3ページに戻っていただき、番号4番と番号5番は、交換での所有権移転の案件となります。

それぞれ耕作の便を図るため、番号4番は田1筆、383㎡、番号5番は田1筆383㎡を交換するものです。11ページおよび12ページの審査表をご覧ください。農地法第3条第2項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

続きまして4ページをご覧ください。番号6番は、贈与での所有権移転の案件となります。譲渡人の経営規模縮小のため、田1筆、671㎡を無償で所有権移転するものです。13ページの審査表をご覧ください。農地法第3条第2項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

4ページに戻っていただき、番号7番は、賃貸借の案件となります。

譲受人の耕作の便を図るため、畑 2 筆、751 m²を議案書記載の金額で賃貸借するものです。14 ページの審査表をご覧ください。農地法第 3 条第 2 項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

続きまして 5 ページをご覧ください。番号 8 番も、賃貸借の案件となります。

譲渡人の経営規模縮小のため、田 10 筆、4,312 m²を議案書記載の金額で賃貸借するものです。15 ページの審査表をご覧ください。農地法第 3 条第 2 項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

続きまして 6 ページをご覧ください。番号 9 番は、使用貸借の案件となります。

譲渡人の農業者年金受給のため、田 1 筆、859 m²を使用貸借するものです。16 ページの審査表をご覧ください。農地法第 3 条第 2 項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

続きまして 7 ページをご覧ください。番号 10 番は、使用貸借の案件となります。

譲受人は農地適格法人以外の法人として平成 22 年に農業参入しており、今回は使用貸借権の再設定となります。畑 1 筆、4,269 m²を使用貸借するものです。17 ページの審査表をご覧ください。農地法第 3 条第 2 項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 　　ただいまの説明に関連して、現地調査班より補足説明をお願いします。

調査班長（渡辺清司 委員）

はい議長。説明いたします。番号 1 番は赤羽地内の田で、番号 2 番は論瀬地内の畑、番号 3 番は高山地内の田、番号 4 番は尾白地内の田、番号 5 番は猿和田地内の田、番号 6 番は青橋地内の田、番号 7 番は三本木地内の畑で、番号 8 番は川瀬地内の田、番号 9 番は論瀬地内の田、番号 10 番は上木越地内の畑で、特に問題がないと見てきましたので報告します。

議 長 　　ありがとうございます。これより質疑に入ります。
ご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

加藤 健一 委員 　　はい。

議 長 　　はい、加藤委員。

加藤 健一 委員

2 番、加藤です。議案番号 10 番に「解除条件付」と書いてありますが、「解除条件付」とはどういうことですか。

議 長 　　事務局。

阿部係長 はい、議長。

議 長 阿部係長。

阿部係長 はい、農業に参入する法人としまして、2種類あります。皆さんご承知の農地適格法人、それ以外の法人となっております。

今回の関係法人さんにつきましては、農地適格法人以外で農地を保有することができる法人として参入が認められたものでありまして、その場合、条件があります。

ひとつは、購入ではなくあくまでも貸借、賃貸借あるいは使用貸借だけです。もうひとつは、通常の農地適格法人とは異なりまして、その賃貸借に解除に関する条件が必ず記載されていること、ということになっております。そこが「解除条件付」という記載になっております。以上であります。

議 長 加藤委員、良いですか。

加藤 健一 委員 はい、分かりました。

議 長 ほかにありませんか。無ければ、採決に入ります。

「議第1号 農地法第3条の規定による許可申請について」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「議第1号 農地法第3条の規定による許可申請について」は、原案のとおり決定されました。

続いて、「議第2号 農地転用事業計画変更承認申請について」を上程します。事務局より説明をお願いします。

阿部係長 はい、議長。

議 長 阿部係長。

阿部係長 はい議長。説明をいたします。

今回の農地転用事業計画変更承認申請は、総数1件であります。

21ページをご覧ください。番号1番は砂利採取として令和元年8月に許可を受けておりましたが、期間の変更を行うものであります。28ページの審査表をご覧ください。

前回と計画の内容そのものに変更はなく、砂利採取後に原形復旧するものであるため、一時転用は止むを得ないものと判断しております。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。
ご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、採決に入ります。
「議第2号 農地転用事業計画変更承認申請について」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「議第2号 農地転用事業計画変更承認申請について」は、原案のとおり決定されました。
続きまして、「議第3号 農地法第5条の規定による許可申請について」を上程します。事務局より説明をお願いします。

阿部係長 はい、議長。

議 長 阿部係長。

阿部係長 はい議長。説明をいたします。
今回の農地法第5条の規定による許可申請は、総数1件で、売買の案件であります。
説明にあたりまして、個人情報や金額等については、あらかじめお送りした議案書をご確認いただくこととし、審査基準の項目について適合しているかなど、検討結果を中心に説明いたします。
31ページをご覧ください。番号1番は田1筆、合計面積307㎡を宅地の拡張とする永久転用案件で、売買となります。
転用目的は宅地の拡張で、具体的には、庭および冬季間の雪捨場であります。
37ページの審査表をご覧ください。許可基準に定める農地区分の該当事項は「エー(ア)ーaー(b)ーiv」であります。申請地は本田屋地内の農地で、周囲を宅地に囲まれており、300m以内に市街化の指標となる施設・蒲原鉄道バスターミナルがあるため第3種農地に該当するため、宅地の拡張として使用する事は止むを得ないものと判断いたしました。
以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 ただいまの説明に関連して、現地調査班より補足説明をお願いします。

調査班長（渡辺清司 委員）
はい議長。説明いたします。
番号1番は本田屋地内の休耕畑で、特に問題がないと見てきましたので報告します。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。
ご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

高橋 甚一 委員 はい。

議 長 高橋委員。

高橋 甚一 委員

議席番号5番、高橋です。議案番号1番ですが、庭を考えているそうですが、雪捨てであれば畑のまま構わないと思いますし、現状耕作はされていないとは思いますが、何も造成などはしないのでしょうか。

阿部係長 はい。

議 長 はい、阿部係長。

阿部係長 高橋委員のご質問にお答えします。計画としては特別造成をしたりかさ上げをしたりといったことは考えていない、ということであります。

議 長 高橋委員、良いですか。

高橋 甚一 委員 分かりました。

議 長 ほかにありませんか。無ければ、採決に入ります。

「議第3号 農地法第5条の規定による許可申請について」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「議第3号 農地法第5条の規定による許可申請について」は、原案のとおり決定されました。

続きまして、「議第4号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画について」の「あっせん審査委員会案件」についてお諮りします。
事務局より説明をお願いします。

藤田主査 はい、議長。

議 長 藤田主査。

藤田主査 はい。議長説明いたします。

41 ページをご覧ください。令和3年1月14日（木）に、あっせん審査委員会が開催され、議案番号1番から3番の内容について審議されました。

あっせん登録者を審査し、近隣の状況等から妥当であるとの審査結果を得ています。

番号1番から3番は、売買の案件です。

番号1番は、面積303㎡、番号2番は、面積986㎡、番号3番は、面積442㎡、これらを議案書記載の金額で所有権移転するものです。

番号1番、3番は規定面積を満たしておりませんが、譲受人は隣接する農地を耕作しており、合計面積が規定面積を超えるため申請を受理しました。また、これらの所有権移転の内容は、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の内容で適合します。第3項の内容の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。

ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議長 無ければ、採決を行います。

「あっせん審査委員会案件」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議長 挙手全員でありますので、「あっせん審査委員会案件」は、原案のとおり決定されました。

続いて「通常案件」についてお諮りします。

この案件には、委員が関係するものがありますので、そちらから先にお諮りします。議案番号18番、19番は私が関係しますので、議事参与の制限により退室します。

議長を松尾委員に交代します。

（古田常蔵 委員 退室）

議長（松尾タカ子 委員）

それでは、議長交代しました。

「通常案件」の議案番号18番、19番について事務局より説明をお願いします。

事務局 はい、議長。

議長 藤田主査。

藤田主査 はい。議長説明いたします。

63、64 ページをご覧ください。番号 18 番、19 番は利用権設定の再設定案件です。

番号 18 番は、合計面積 345 m²。番号 18 番は規定面積を満たしておりませんが、譲受人は隣接する農地を耕作しており、合計面積が規定面積を超えるため申請を受理しました。

番号 19 番は、合計面積 1,572 m²。それぞれを議案書記載の金額で貸し借りするものです。この計画は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の内容で適合します。第 3 項の内容の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。
ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議長 無ければ、採決を行います。

「通常案件」の議案番号 18 番、19 番は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議長 挙手全員でありますので、「通常案件」の議案番号 18 番、19 番は、原案のとおり決定されました。古田 委員は入室して下さい。

(古田常藏 委員 入室)

議長 (古田常藏 委員)

議長交代しました。

続きまして、議案番号 10 番、51 番、52 番は委員が関係しますので、退室をお願いします。

(関係委員 退室)

それでは議案番号 10 番、51 番、52 番について、事務局より説明をお願いします。

事務局 はい、議長。

議長 藤田主査。

藤田主査 はい。議長説明いたします。
53 から 58 ページをご覧ください。番号 10 番は新規の利用権設定案件です。
番号 10 番は、合計面積 24,691 m²を議案書記載の金額で貸し借りするものです。番号 10 番は未相続農地ですが、関係権利者の同意を得て、申出者を推定相続人代表として申請を受理しました。
続きまして、95 から 97 ページをご覧ください。番号 51 番、52 番は利用権の再設定案件です。番号 51 番は、合計面積 8,047 m²、番号 52 番は、合計面積 2,041 m²。
番号 52 番は未相続農地ですが、関係権利者の同意を得て、申出者を推定相続人代表として申請を受理しました。それぞれを議案書記載の金額及び俵数で貸し借りするものです。この計画は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の内容で適合します。第 3 項の内容の読み上げは省略します。
以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。
ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議長 無ければ、採決を行います。
「通常案件」の議案番号 10 番、51 番、52 番は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議長 挙手全員でありますので、「通常案件」の議案番号 10 番、51 番、52 番は、原案のとおり決定されました。関係委員は入室して下さい。

(関係委員 入室)

議長 続きまして、番号 64 番は、委員が関係しますので、退室して下さい。

(関係委員 退室)

議長 それでは、事務局より説明をお願いします。

事務局 はい、議長。

議長 藤田主査。

藤田主査 はい。議長説明いたします。

103 ページをご覧ください。番号 64 番は利用権の再設定案件です。面積 1,824 m²を議案書記載の俵数で貸し借りするものです。この計画は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の内容で適合します。第 3 項の内容の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。
ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議長 無ければ、採決を行います。
「通常案件」の番号 64 番は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議長 挙手全員でありますので、「通常案件」の番号 64 番は、原案のとおり決定されました。関係委員は入室して下さい。

(関係委員 入室)

議長 続きまして、番号 65 番は、委員が関係しますので、退室して下さい。

(関係委員 退室)

議長 それでは、事務局より説明をお願いします。

事務局 はい、議長。

議長 藤田主査。

藤田主査 はい。議長説明いたします。

103 ページをご覧ください。番号 65 番は利用権の再設定案件です。合計面積 4,891 m²を議案書記載の金額で貸し借りするものです。

この計画は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の内容で適合します。第 3 項の内容の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。
ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、採決を行います。

「通常案件」の番号 65 番は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「通常案件」の番号 65 番は、原案のとおり決定されました。関係委員は入室して下さい。

(関係委員 入室)

議 長 続きまして、「通常案件」の番号 10 番、18 番、19 番、51 番、52 番、64 番、65 番を除く案件について、事務局より説明をお願いします。

事務局 はい、議長。

議 長 藤田主査。

藤田主査 はい。議長説明いたします。

42 ページからをご覧ください。番号 10 番を除く、番号 1 番から 17 番は、新規の利用権設定案件です。

番号 1 番は、面積 1,021 m²、番号 2 番は、合計面積 4,127 m²、番号 3 番は、合計面積 7,060 m²、番号 4 番は、合計面積 4,084 m²、番号 5 番は、合計面積 21,421 m²、番号 6 番は、合計面積 3,069 m²、番号 7 番は、合計面積 9,054 m²、番号 8 番は、面積 991 m²、番号 9 番は、合計面積 13,133 m²、番号 9 番は未相続農地ですが、関係権利者の同意を得て、申出者を推定相続人代表として申請を受理しました。

続きまして、58 ページからをご覧ください。

番号 11 番は、合計面積 2,766 m²、番号 12 番は、合計面積 10,845 m²、番号 13 番は、合計面積 6,248 m²、番号 14 番は、合計面積 2,296 m²、番号 12 番、13 番、14 番は未相続農地ですが、関係権利者の同意を得て、申出者を推定相続人代表として申請を受理しました。

番号 15 番は、合計面積 2,720 m²、番号 16 番は、合計面積 3,206 m²、番号 17 番は、面積 1,285 m²。それぞれを議案書記載の金額及び俵数で貸し借りするものです。

続きまして、番号 18 番、19 番、51 番、52 番、64 番、65 番を除く、番号 20 番から 87 番につきましては、利用権設定の再設定案件です。それぞれを議案書記載の金額及び俵数で貸し借りするものです。

続きまして、124、125 ページをご覧ください。番号 88 番、89 番は、新規の利用権

設定の案件です。番号 88 番は、合計面積 2,593 m²、番号 89 番は、面積 1,950 m²。それぞれを使用貸借するものです。

これらの計画は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の内容で適合します。第 3 項の内容の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。
ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

渡辺 清司 委員 はい。

議 長 はい、渡辺委員。

渡辺 清司 委員

議案の出し方の質問なんですが、76 ページの議案番号 32 番。譲り渡す方、共有名義の方だと思うんですが、こういう場合は法人と同じように年齢は記載しなくても良い、ということですか。確認させてください。

藤田主査 はい。

議 長 はい、事務局。

藤田主査 はい、そうですね。共有名義のものだと複数人の表示になりますが、議案書を印刷する仕様上、代表者 1 名の年齢が出るのではなく、共有名義の場合は年齢が出ないような形となっております。生産法人さんが契約する場合も同じようなかたちとなる仕様となっております。

議 長 渡辺委員、良いですか。

渡辺 清司 委員 はい。

議 長 ほかにありませんか。無ければ、採決を行います。

「通常案件」の番号 10 番、18 番、19 番、51 番、52 番、64 番、65 番を除く案件について原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「通常案件」の番号 10 番、18 番、19 番、51 番、52 番、64 番、65 番を除く案件は、原案のとおり決定されました。

続きまして、「農地中間管理事業案件」についてお諮りします。事務局より説明をお

願います。

事務局 はい、議長。

議長 藤田主査。

藤田主査 はい議長。説明いたします。

126 ページからをご覧ください。今月は、2 件の申し出がございました。番号 1 番、2 番は、農地中間管理機構への農地貸借の案件となります。

番号 1 番は、合計面積 15,191 m²、番号 2 番は、合計面積 2,688 m²。それぞれを議案書記載の金額で貸し借りするものです。

今月は、総数田 17,879.00 m²・畑 0,00 m²・計 17,879.00 m²を議案書記載の金額で農地中間管理機構へ貸借します。

これらの計画は、農地中間管理事業の推進に関する法律第 2 条第 5 項による農地中間管理権を設定するものであり、同法第 8 条第 3 項の事業規定に含まれるものであります。事務規定の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。

ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

高橋 甚一 委員 はい。

議長 高橋委員。

高橋 甚一 委員

議席番号 5 番、高橋です。議案番号 1 番と 2 番の譲渡人の面積が同じなんですけれど、これはどういうことなんでしょうか。

藤田主査 はい。

議長 藤田主査。

藤田主査 はい。番号 1 番と 2 番は同一世帯からの貸付というかたちになります。離農に伴うもので、それぞれ貸し付けるものですが、土地所有者から機構に貸し付ける形になります。

高橋 甚一 委員

単に、生前贈与などでやっているうちに丁度親と子が同じ面積になっているのですか。

藤田主査 確認ですが、同じ面積というのは年齢の横にあります経営面積が同じ、ということでしょうか。

高橋 甚一 委員 はい。

藤田主査 こちら、名前は別なんですけど同じ同一世帯、同一の経営体でありますので、経営面積は親子で同じ面積であります。お一人ずつこの面積を所有しているのではなく、世帯で全部合わせてこの面積となっております。

高橋 甚一 委員 はい。分かりました。

議 長 ほかにありませんか。無ければ、採決を行います。

「農地中間管理事業案件」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「農地中間管理事業案件」は、原案のとおり決定されました。

続きますて…

鈴木局長 はい。

議 長 鈴木局長。

鈴木局長 はい。次の議案に入る前に資料の追加をお願いいたします。
160 ページの次に 160 の 2 というページを追加いたします。

議 長 いいでしょうか。それでは「議第 5 号 非農地通知の対象とするものの決定について」を上程します。事務局より説明をお願いします。

田中所長 はい、議長。

議 長 田中所長。

田中所長 今ほどは資料の追加ということで大変申し訳ありません。説明します。
農地法第 30 条の規定により、管内農地の利用状況調査を年 1 回行うことと謳っており、本市においても夏の 7・8 月頃に農地利用最適化推進委員と共に、農業委員の皆さんからご足労願って調査を行っております。

平成 28 年の管内調査から農地利用復旧が困難な農地調査としまして中山間部の土地改良管轄外農地の状況調査を 4 ケ年かけて実施してまいりました。

結果につきましては、既に皆さんにご報告のとおりでございますが、今年度から 3 ケ年かけてこの調査結果の対象農地の所有者に対し、農業委員会で管理しております農地台帳から非農地として削除する旨を通知し、異議なければ削除する作業を実施します。

既に広報ごせん 9 月 25 日号及び農業委員会だより 10 月 1 日号でこの非農地化処理について広報してまいりましたが、この 2 月 1 日の農業委員会だよりでも今年度の非農地化処理実施地区の川東地区をさらに広報し処理を実施いたします。

議案書の P160 をご覧下さい。通知書郵送対象者は、精査しまして、311 名・965 筆・363,366.41 m²となりました。その通知文書としまして、今ほど配布いたしました 160 の 2 のとおり、地番と地目、面積を記載したものを送付いたします。

3 月 15 日までに所有者からの異議申し立てがなければ、この数字をそっくり農地台帳から削除します。最終的な確定数字は、3 月の総会にて報告します。

尚、計画では次年度を橋田地区・その次は村松地区を予定しており、この非農地化処理を完成し農地台帳管理の適正化を進めていく予定です。以上です。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。
ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

渡辺 清滋 委員 はい。

議 長 渡辺委員。

渡辺 清滋 委員

非農地となった場合、今までとどのような点が変わるのでしょうか。このまま荒れていくのをそのまま、となるのでしょうか。

田中所長 はい。

議 長 田中所長。

田中所長 お答えします。平成 21 年度から荒廃農地の調査に関する指針という農林水産省の指針がありまして、それに基づき調査を進めてきたところです。どういうことかと申しますと、大型機械を持ち込まないと農地に戻すことが困難な農地を、農地台帳から外す処理を行ってください、ということでもあります。

当時はそういった農地を農地以外に変えるときは登記も変えてください、税金も変えてください、という指導もあったんですけど、お金もかかる話でありますので、なかなか難しい面もありました。そこで、農業委員会の管理する農地台帳から落とさせていただきます、ということでもあります。

議 長 渡辺委員、どうですか。

渡辺 清滋 委員

ということは、荒れた農地はどういった取扱いになるのでしょうか。

議 長 登記簿上は何も変わらないと。地目はどうなるんですか。

田中所長 この作業を進めるにあたり、当初国の指針としては登記まで変えてくださいということが指導だったんですけど、それは現実的に難しいですし、法務局への負担も殺到するようなことで、登記まで変えてくださいというような強い指導はなくなりまして、各農業委員会にお任せする、ということになりまして、五泉市農業委員会としては登記を変えることまでは強要しないということを結論付けております。

渡辺 清滋 委員

昨年、クマばかりでなくイノシシが出没して、ちょうど山との境目のところが棲み処となっているという話を聞きました。

ぜひこういう処理で転換されても、自分の土地だと、人に迷惑をかけないように林は林として迷惑かけないような心構えで管理していただきたいと思っております。

議 長 農地法上のことでありますが、農地は耕作者主義と言いますか、所有権と有効な利用計画が前提となるわけでありまして。いま休耕農地とか遊休農地がどんどん増えていくと。それは放っておくと農地でないとことになるわけですし、今現在の農地法の前提と変わってきているな、と。

前回も話したかも知れませんが、農地法、農業委員会、農業委員、これらが大幅に変わっていくという取沙汰されています。一般企業も所有権が持てるというようなことを前提に動き始めております。それに対して農業委員会は、我々が動きやすいような方法で改正するようになれば良いが、と声を大きくして訴えているところです。

ただやはり遊休農地がどんどん増えていく社会になるという、それにどう対応するのかと突きつけられると中々難しい。余計な話になるかも知れないが、そういう状態を生んだのは誰なのかという話になると、色々問題がまた出てくると。

まあ、今現在そういう状態にあるということでありまして。

議 長 ほかにありましたらお願いします。

無ければ、採決を行います。「議第 5 号 非農地通知の対象とすることの決定について」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「議第 5 号 非農地通知の対象とすることの決定について」

て」は、原案のとおり決定されました。

続きまして、日程 8「報告事項」に入ります。

「報告第 1 号 農地賃借料情報について」事務局より説明をお願いします。

藤田主査 はい、議長。

議 長 藤田主査

藤田主査 はい議長報告いたします。

163、164 ページをご覧ください。令和 3 年 1 月 14 日に役員会にて上程し、承認された内容について説明いたします。令和 2 年 1 月から 12 月までの農地法第 3 条、農業経営基盤強化促進法及び農地中間管理事業の貸貸借権設定案件より、地区ごとに平均した賃借料を掲載いたしました。

記載のある地区は、平均値を計上したものですし、記載のない空欄の地区については、平均値の根拠となる貸貸借がなかった、又は 3 例未満と少なかったため、計上しておりません。また、最高額・最低額の欄につきましては、各地区の令和 2 年中の最高値、最低値を提示しております。

物納の単位ですが、1 俵当りは 60kg としております。また、畑地の賃借料につきましては、対象となる貸貸借事例が少ないため、五泉・村松地区共に昨年と同様の数値を掲載いたしました。以上、報告いたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。
ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

川村 孝雄 委員 はい。

議 長 川村委員。

川村 孝雄 委員

議席番号 14 番、川村です。前回も言ったんですけども、川東地区の基準額と巢本の基準額なんですけど、3 千くらいの差があると。これちょっと私の方では不思議に思うんですよね。

作物の出来具合とか巢本の方が良くできるものですから、ちょっと川東地区は上がり過ぎというか、巢本の方が下がり過ぎなのか。最高額とか最低額も分かるんですけども、ただ、最高でも 2 万 5 千円というのは私も聞いたことがないので、どこから来ているのかなと疑問です。巢本と川東の格差があまりにも大きいと思うんですけど。

議 長 はい、藤田主査

藤田主査 はい、お答えいたします。今ほどのお話で最高額、それから各地区ごとの金額の差

があるというお話でした。こちらあくまで昨年中に出てきた貸借の金額、契約者が双方決定された金額を機械的に集計して平均をとらせていただいた数値となっておりますので、そのままの数値を載せさせていただいたものでございます。

ちょっと中身によっては高いもの、低いものが混じっているかと思えますけれど、平均値という形で。

あと、もうひとつ、一番下 163 ページの一番下のところに大きめの表示で書いておりますが、あくまで参考値というもので、契約にあたっては貸し手さん借り手さんで充分確認いただいて賃借料を決めていただく、ということを知らせていただくものとして、情報提供として出したいと思っております。

川村 孝雄 委員

それでは、川東地区の最高額 2 万 5 千円というのは実際あった話なんですか。

藤田主査 はい。実際に事例としてあったものの最高の金額でございます。

議 長 あのですね。役員会でもこの決定については非常に揉めたというか、協議しまして。毎年コメがどんどん安くなっていくなかで、今年あたりまたコロナ関係で在庫米が 36 万トン以上あると。あるいは 1 年間の消費が 10 万トンくらいだったのが、去年の暮れあたりから 8 万トンくらいになったと。

どんどんコメを食わなくなっていくなかでこんなものを出していいのかという、かなり文句が色々出てくるぞという話はしたんですが、一応これ藤田主査も言いましたように目安ということで、出すのであってしょうがないだろうと。

川村 孝雄 委員

会長、でもこれを基準というふうな形で出すわけですから、これを元に話をすると思うんですよね。これを基準というのであれば、やっぱり余りにも差があるような場合であれば管理すべきだと思うんですけれども。それが仕方ないと言われればそれまでなんですけれども。

議 長 総会ですので、変えることも可能なんです。皆さん、他の地区でも色々あると思うんですが、ご意見ありませんか。地区を代表して一人ずつ喋ってもらおうかな、ご意見を。どうですかね。巢本地区なじだね。

林 毅 委員

8 番、林です。今回うちも利用権設定のときに色々話が出たんですけど、前任者から引き継いだ部分もありまして、なかなか変えづらい部分もありまして、今回引き継ぎにあたっては前回とだいたい一緒かなと。

あとお金の方は金額にした場合には多少ちょっと安くしてもらえるかな、という感じで決定したわけなんですけれども。まあ以前と比べましてほとんど変わらないと思います。

議 長 橋田はなじだね。

伏字

渡辺清司 委員

昨年の11月の橋田の担い手育成会のなかでも一応合同で1俵という形のなかで橋田は一応合意はしたんですけど、あくまでもお互いの話し合いはあったりとか、過去の再設定の流れがあったりして、今回みたいなものちょっと幅がありますが、基本線は橋田は1俵ですね、内々の。我々は。現金など仮り渡し。

議 長 地濃委員、新聞はなじだね。

地濃 潤一 委員

新聞は、いま2万円になっていますけども、数年前まではもう少し高かったんですよ。2万2千円だったか、はっきりと覚えてなかったんですけど。

それは、ある地権者、一部の方の金額。これ平均額なんで、ある一部の方が高い金額でやり取りしてしまったのが、耕作者の方が今の農業の情勢を説明して納得していただいて、「それはしょうがねえこって」となって最高値だった方の値段が下がってこの値段になって。まあまあ、我々耕作者の事も、前から少しは安くなって。

まだ個人的には高いと思うんですけども、こんなことでという話になったと。

議 長 中間管理事業を使うとね、その契約のなかで10年20年付き合いますしね。他の契約できなくなりますし、口座振替になる訳で。「コメ安くなったので返してくらっしゃい」というのも難しいところがありますしね。

そういうのはやはり、全体の貸し借り、基盤法なんかもそうなんですけど、やはり相手と色々話す以外ないのかなど。我々はあくまで基準だと言うけれど、これ必ず揉めるぞという話をしながらも出さざるを得ないということで、苦しい選択をさせられたことになる訳なんです。

いっこ出さねば、という訳にもいかないしね。出さねばいいのかの。

高橋 甚一 委員 はい。

議 長 高橋委員。

高橋 甚一 委員

議席番号5番、高橋です。こうやって出して貰わないと、借りる方の基準がまずあれなんですけど、皆さん情報、参考値でやっていますので。本当は出されると借り手の方が平均額でだいたいこれぐらいという目安なので、借り手側からすると若干まづい点もある事はあるんですけど。

議 長 まあ平均額ですからね。最高、最低値がある訳なんで、そのように説明していくし

かないんじゃないかというところはあって。

まあ地区によってかなりの差があるけども、いっそこれ西と東くらいに分けて出す訳にはいかない。非常に我々にとっても難しいことで。

この数字は毎年変わるんだよね。3年か4年に1回であれば多少良いのだろうけど、毎年千円も2千円も違ったりするとどうなってるんだ、という事になるんで、役員会でも話をしておったところです。

まあ、あくまでも目安なんだということで認識してもらってお願いをしたいなと思っています。そんなことをご承知いただけますかね。

議 長 続きまして、「報告第2号 農地中間管理事業による農用地利用配分計画について」事務局より説明をお願いします。

藤田主査 はい、議長。

議 長 藤田主査。

藤田主査 はい議長報告いたします。

167 ページからをご覧ください。昨年、第12回定例総会において議決され、農地中間管理機構へ貸付されました農地について、農用地利用配分計画を報告いたします。

番号1番は、合計面積13,840㎡、番号2番は、合計面積5,044㎡、番号3番は、合計面積1,522㎡、番号4番は、合計面積1,794㎡、番号5番は、合計面積670㎡、番号6番は、合計面積2,040㎡、番号7番は、合計面積947㎡、番号8番は、合計面積2,250㎡、番号9番は、面積342㎡、番号10番は、合計面積1,395㎡。

それぞれが議案書記載の金額で農地中間管理機構から借受人に対して貸借されるものです。以上報告いたします。

議 長 ありがとうございます。ただいまの説明につきましてご質問はございませんか。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、報告事項を終了いたします。

以上で、本日の総会の議案審議は終了しました。これをもちまして、令和3年第1回五泉市農業委員会総会を閉会いたします。

(午後3時20分 閉会)